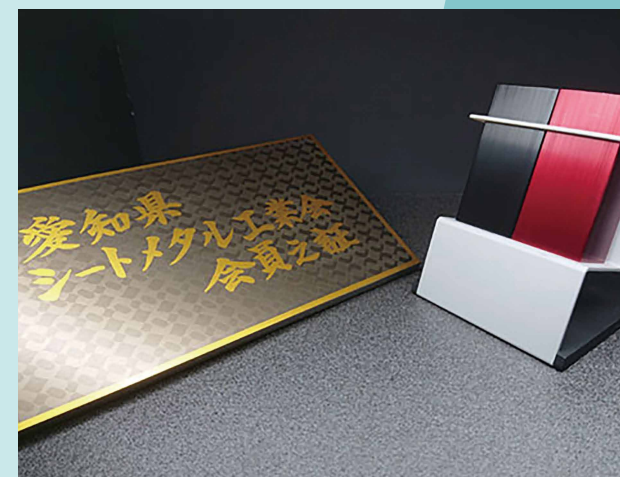


アルパ工業株式会社



機械設備の導入による、顧客ニーズへの対応とアルマイト加工技術の向上



アルマイト加工を施した製品



社内一貫体制の加工現場

最新設備の導入により
高い品質の加工を実現
変化する
顧客ニーズへの対応

DATA：あるぱこうぎょう



代表取締役：柴田 昭彦

設立年月日：昭和58年9月
住 所：〒497-0013 あま市七宝町川部埋田52
電 話：052-442-0441
F A X：052-442-6865
U R L：<https://www.alpakk.com/>
E - M a i l：a.shibata@alpakk.com
資 本 金：1,000万円
業 種：アルマイト加工
従 業 員 数：18人

アルマイト加工の高い技術

アルパ工業株式会社はアルマイト加工（アルミニウム製品に対するコーティング処理）を手掛けている。創業よりネームプレートの製造を手掛け、現在ではインターホンや機械設備の操作パネルなど外装部品を扱っており、装飾技術に磨きをかけてきた。また、創業当初より「アルファからオメガまで」という考えで社内一貫体制を築いており、アルマイト加工をはじめ板金加工や切削加工、印刷まで製造業務のほとんどを自社一貫で手掛ける。これによって、物流面におけるタイムロスや不良品の抑制に結びついている。なかでも技術力の高さには定評があり、無機着色アルマイトにおいて均一に皮膜をコーティングすることは非常に難しい処理技術であるが、同社では長年の経験によりこの技術を確立している。着色アルマイト加工を活かした装飾

性の高い加工技術を活かして、「軽金属皮膜商店」のブランドを構築し、一般個人向け名刺入れなどのアルマイト加工も行っており、アクセサリやペット用品など取扱品の幅を広げている。

新たな顧客ニーズへの対応に向けて

アルマイト加工を手掛けるなかで、過去にはプレートなどの小型部品等への加工が多かったが、近年は大型部品のアルマイト加工へのニーズが高まっている。また、これまで同社で行っていた主なアルマイト加工は、腐食を抑え、着色ができるが硬度は低い無機着色アルマイト加工と、腐食を抑え、硬度も高いが着色ができない硬質アルマイト加工の2種類である。近年は大型かつ、屋外であっても腐食を抑えられ

るアルマイト加工へのニーズが高まっており、着色ができる無機着色アルマイトの利点と硬度が高い硬質アルマイトの利点を兼ね合わせたアルマイト加工が求められている。

機械設備の導入による顧客ニーズへの対応

高い技術力を持つ同社であるが、広い加工面積の加工ムラへの対応と量産体制の確立を課題としており、必要となったのがよりハイスpekで新しい機能を搭載する機械設備であった。

選んだのが千代田機器販売製のDUTY高速極性反転型電源であり、この設備の活用によって皮膜厚のパラッキを小さくすることができたほか、皮膜生成時間の短縮によって水道光熱費を10%削減することができた。設備投資の実施に際して、「平成29年度補正も

のづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」を活用し、多様化した顧客ニーズへの対応が可能となった。また、設備投資の実施によって同社の技術力は一層高まり、これにより建材や医療関係、工作機械など新たな取引の獲得に繋がった。

新たな加工技術の開発で成長を目指す

屋外でも耐えうる十分な硬度や耐食性を保ったうえで、着色が可能なアルマイト加工技術のニーズが高まっているなかで、より一層、色の濃度等の品質を向上させ、設備増強などにより内製率を高めていく考えである。今後も建材業界等への需要に対応するとともに、他社にはない付加価値の高い加工技術の更なる開発による成長が期待される。



アルマイト加工の様子